

## 海老名災害ボランティアネットワークだより



第29号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク(海老名災ボラ)  
 事務局 海老名市上郷 474-1 海老名市社会福祉協議会地域福祉課内  
 ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

## 参加者募集中！

## ★体験型講座 減災・災害対応訓練（11/26）

大規模地震が起きたとき、大切なのは「自助」（自分の命は自分で守る行動）と「事前の備え」（家具転倒防止や備蓄など）です。自助を出発点として、「共助」（隣人や地域の人たちと共に助け合う行動）が始まります。

海老名災ボラでは、体験型講座（減災・災害対応訓練）を開催します。皆さま、奮って参加してください。

## 体験課目＞

- ①災害時に身を守る基本行動（シェイクアウト訓練）
- ②水の備蓄、水の運び方の体験
- ③食料の備蓄、災害食を体験
- ④災害時のトイレ対策  
（ビニール袋と凝固剤などの活用、簡易トイレ袋の利用など）
- ⑤家具類の固定方法
- ⑥ガラス飛散防止の体験



【昨年の体験型講座より】

日時：11月26日（土）午前10時～午後1時まで

（受付開始：9時30分、講座開始：10時、体験課目終了後、災害食で昼食）

会場：海老名市総合福祉会館駐車場（海老名市上郷474-1）

（雨天の場合は、体験課目を縮小して福祉会館内で実施）

対象：海老名市在住・在勤者（小学生以下は保護者同伴で参加してください）

定員：20名、参加費は無料です。

持ち物：動きやすい服装、飲み水（ペットボトル1本程度）

主催：海老名災害ボランティアネットワーク

共催：海老名市社会福祉協議会

後援：海老名市

申し込み方法：11月21日（月）までに、電話またはFAXで申し込みください。

資料・食材などを準備する関係がありますので、事前申込をお願いします。

申込先（問い合わせ先）：海老名市社会福祉協議会地域福祉課

TEL 046-232-1600 FAX 046-232-9561

または海老名災害ボランティアネットワーク

TEL 090-3229-8069（橋本）

皆様のご参加を  
お待ちしております



## 《災害救援ボランティア・コーディネーター養成講座のお知らせ》

大規模な災害が起こり、海老名市が被災地になったときに、海老名市の要請、または海老名市社会福祉協議会の判断で、海老名市災害救援ボランティアセンターが設置されます。災害救援ボランティアセンターでは、市内の被災者のニーズ（要望）を聴くとともに、海老名市内外から駆けつけるボランティアを受け入れ、適切なボランティア活動に結び付ける活動を行います。災害救援ボランティアセンターで、こうした活動を行う人を「ボランティア・コーディネーター」と言います。このボランティア・コーディネーターを養成する講座を開催します。

詳細については、海老名災ボラのホームページに掲載します。また、来年の「広報えびな」「ぬくもり通信 社協えびな」に掲載をお願いしています。これらをご覧の上で、申込をお願いします。

日 時：平成29年2月18日（土）座学を中心に学ぶ講座

平成29年2月25日（土）救援ボランティアセンター立上げ訓練

場 所：海老名市総合福祉会館及び海老名市文化会館を予定しています。

対 象：海老名市に在住・在勤の方で、2日間とも出席できる方

参加費：無料（筆記用具及び昼食・飲料水は各自で用意してください）

問合せ先：

社会海老名市福祉協議会e-mail [ebina-saigaiborasen@ebina-shakyou.or.jp](mailto:ebina-saigaiborasen@ebina-shakyou.or.jp)

Fax 046-232-9561 TEL 046-232-1600

海老名市災害ボランティアネットワーク

ホームページ <http://www.ebina-saibora.net>

橋本代表メール [edvn-hasiken@ammail.palara.or.jp](mailto:edvn-hasiken@ammail.palara.or.jp)



## 平成28年度(上期)活動報告

### 柏ヶ谷小学校の「福祉教室」で

#### 「災害用ミニポーチの活用」などを講演

平成28年6月16日（木）午後

柏ヶ谷小学校の3年生（3クラス）に対して、入学時に海老名市から贈られた「災害用ミニポーチ」の活用方法について、説明を行いました。

会場は、柏ヶ谷小学校の図書室で、児童約80人が出席しました。まず、ミニポーチの中に入っている防災用品を子どもたちに見せながら、その使用方法を説明しました。例えば、どこかに閉じ込められた時に、自分の居場所を皆に知らせるときにホイッスルは役立つこと、水や非常用食品などが入っていること、賞味期限に注意することなどを説明しました。



「みんな真剣に聞いているね～」

突然、「地震だ」という声がすると、子どもたちはそれぞれに安全と思われる場所で「身を低くして・頭を守る姿勢をとり・地震の揺れが収まる」のを待ちました。シェイクアウト訓練です。地震が起こった時、自分が学校にいるとき、通学の途中、家にいるときなどをイメージして、怪我をしないようにするにはどういう行動をとれば、安全なのかを子どもたちと討論しました。子どもたちと災害ボランティアが、地震が起こった時に、どこにいればどういう行動が命を守るのかについて、討論しました。

子どもたちも子どもたちなりに、地震災害について、考えたと思います。



## 「えびな市民祭り」で、防災・減災アンケートなどをPR



平成28年7月24日(日)

海老名市民祭りが運動公園で開催され、海老名災ボラは、防災消防ランドで、防災パネルの展示、防災・減災に関するアンケート調査、ブルーシートを活用した三角テントの設営などを行いました。特に、防災・減災アンケート調査では、80名の市民が調査票に記入してくださいました。地震の揺れを感じた時の行動では、「丈夫なテーブルや机の下で支柱をもって揺れの収まるのを待つ」などの回答が多く、また、「水や食料品の備蓄がある

方が多く、アンケート調査に回答した市民の皆さんの防災・減災意識の高さを示していました。しかし、ガラス飛散防止フィルムを貼った方や、非常用持ち出し袋の準備、住宅用火災報知器の設置などを実行している方は少なく、まだ十分な備えは出来ていない状況を示していました。

## 有鹿小学校サマースクールで

「三角テント設営」を子どもたちと実施  
平成28年7月26日(火)午前



夏休みに入った有鹿小学校のえびなっ子スクール(以前のサマースクール)で、体験的防災減災訓練の講座を選んだ5年生と6年生(10名)と一緒に、体育館でブルーシートを活用した三角テント設営訓練を実施しました。まず始めは、テント設営に必要なロープの結び方(ロープワーク)を一緒に行いました。次に、子どもたちが中心になって、ブルーシート、物干し竿、ロープを利用した三角テントの設営の体験的実習を行いました。突然、「地震だ」という声が出て、子どもたちは、体育館内の安全と思われる場所で、それぞれが身を低くして、頭を守る姿勢を取りました(シェイクアウト訓練)。子どもたちが設営した三角テントが立派に立ち上がりました。

## 「ボランティア・フェスタ」で、

食器づくりや災害時のトイレ対策を実演  
平成28年8月6日(土)

海老名市総合福祉会館で、ボランティア・フェスタが開催され、海老名災ボラは、食器などが不足した場合、新聞紙とビニール袋を活用してコップやお皿を作る方法(折り紙)、また、水洗トイレが使用中止となった場合のトイレ対策などをPRしました。特に、新聞紙などを使った食器づくりでは、お母さんと子どもが折り紙に挑戦して楽しそうでした。



## イオン「幸せの黄色いレシート キャンペーン」に参加

平成28年10月11日(火)

毎月11日はイオン幸せの黄色いレシート  
キャンペーンの日です。



イオンに来店されたお客様から支援したい団体のボックスに黄色いレシートを投函していただき上期、下期のレシート売り上げ合計金額の1%が買物カードとして贈呈されます。そのカードで海老名災ボラではA3のピンクコピー用紙を購入し年2回発行のネットワークだよりの印刷にあてております。イオンに来店されたお客様に支援して頂くために、呼びかけとは別にパネル展示やネットワークだよりを手配りし海老名災ボラをより一層理解していただけるようPR活動をしております。ご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

# 地震時の安全の基本行動を身につけよう！

全国各地で「シェイクアウト」という新しいタイプの防災訓練が広がっています。

このシェイクアウト(防災訓練)の目的は、●地震にあっても「ケガ」をしない

●身近な人を助ける

●地域防災力向上に貢献できる人を育てる

地震が発生した時

## <自分自身の命を守る基本行動>

- 1 姿勢を低く
- 2 体・頭を守って
- 3 揺れが収まるまでじっとして

## <あなたの住まいの安全対策を>

- テーブルなど「動くもの」の固定
- 食器棚など「倒れるもの」の固定
- 「飛び出すもの」「落ちるもの」の固定
- 「割れるもの」への対策など

## 会員募集

災害時以外の日々の活動も・・・

「自分も何かの役に立ちたい！！」

そんな気持ちをお持ちの方、大歓迎！！



いざ災害、というとき  
助け合える市民のネットワークづくりに  
あなたの力を貸してください。  
年齢性別は問いません。

年会費

- 1 □ 1000円
- 個人会員 2□以上
- 賛助会員 1□以上
- 法人・団体会員 3□以上

お問い合わせ

〒243-0434

海老名市上郷 474-1

海老名市社会福祉協議会地域福祉課内

海老名災害ボランティアネットワーク

Tel. 046-232-1600

Fax. 046-232-9561

### 《編集後記》:

熊本大地震の復旧・復興もまだまだ進まない状況の中、新たに北海道・東北地方の台風10号による水害で多大なる被害を被りました。被災され、また亡くなられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、一日も早い復興を願います。  
日本列島いっしょに地震などの大災害が起こるか知れませんが、いざという時には普段の心構えや訓練が活かされます。  
EDVNでは「招かざる客」災害に備えた活動を行なっています。皆さまのご協力をお願いします。

(gejimon)